

学校名 三郷市立栄中学校
所在地 三郷市栄4 - 3 2 5
電話 0 4 8 - 9 5 2 - 1 2 0 1

1 本校の概要

本校は三郷市の南部に位置し、昭和49年に新設され、開校35年目である。現在9学級の中規模校である。「自ら学ぶ生徒、豊かな心を持つ生徒、心身を鍛える生徒」を学校教育目標に掲げ、教職員が一丸となって特色ある学校づくりを行っている。特色ある学校づくりとして、朝読書、基礎基本の徹底、漢字学習に力を入れて取り組んでいる。

2 本校の実践の概要

(1) 読書環境の充実

バーコードでの貸し出し

昨年度より図書委員、生徒ボランティア、地域の図書ボランティアの協力によりバーコード化の準備を進め、7月よりバーコードでの貸し出しを開始した。バーコード化により、貸し出し返却がスムーズになり貸し出しの量も増え、どんなジャンルが多く借りられているかの統計やクラス別貸出数、個人の読書記録を残すこともできている。



バーコードでの貸し出し個人データ

《分野別貸出数》12月現在

- | | |
|------------|------------|
| ・文学・・・124冊 | ・歴史・・・3冊 |
| ・社会科学・・・8冊 | ・自然科学・・・3冊 |
| ・芸術・・・7冊 | ・技術・・・3冊 |
| ・言語・・・4冊 | ・哲学・・・3冊 |

昼休みの開館

『いつでも開いている図書館』を定着させるため、図書員が当番で毎日昼休みの貸出業務を行う。生徒は本を借りに来るだけでなく、

テスト前などは自習室として利用し、勉強している生徒も見られた。

掲示、図書だよりの発行

いろいろなジャンルの本に興味を持たせるために、「こんな本を読んでみよう!」や「こんな本に挑戦しよう!」などのコーナーを設置し、図書だよりでおすすめの本の紹介などを行った。

(2) 朝読書の取組

- ・全校一斉、毎朝15分間
- ・朝読書用の本を、各クラス10冊ずつ配布

(3) 図書ボランティアとの連携

図書室整備

バーコード化の作業や、掲示物の作成等のお手伝い

長期休業中、放課後の開館

図書委員だけでは開館できない時間帯や日程などに来ていただき、より多くの生徒に使用してもらうために開館した。

- ・長期休業中の開館

104冊の貸し出しがあった

- ・三者面談中(11/10~11/21)の放課後の開館

利用人数延べ60人

- ・定期テスト前の開館

3 成果と今後の課題

図書ボランティアの

協力により、昼休み以外も開館することができ、貸出量の増加がみられた。また、長期休業中や放課後開館することにより、自習室としても活用することができ、図書室へ足を運ばせるよいきっかけとなったといえる。また、他の教職員にも声をかけ、授業や補習での利用も増えている。

今後は、電子化の利点を生かし、統計をとることで、『いろんなジャンルの本に興味を持たせる』取組などを行い、さらなる読書活動の推進を行っていききたい。

